

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ジャングルキッズジム			公表日	2026年 3月 5日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		運動療育を行う事を踏まえてスペースはかなり広さを確保しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		適切な職員数を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・視覚的にわかりやすい環境設定を心がけています。 ・その時通所する子どもの特性によって物を出したり引っ込めたり、安全への環境設定にも努めています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		なっています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		なっています。	
	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎日の朝礼で、気づいたことや、改善の必要なことを常勤職員がミーティングを行い。決定事項は非常勤職員にも伝達されています。	

業務改善	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表のご意見を職員全体で共有し、必要な業務改善を洗い出し取り組むよう努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日の朝礼で、気づいたことや、改善の必要なことを常勤職員がミーティングを行い。決定事項は非常勤職員にも伝達されています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在の所行う予定はありません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		年間で研修スケジュールを組んでおり、毎月計画的に事業所内研修を行い、必要な場合外部への研修も参加しています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		されています。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援計画を作成する際には、児童発達責任者が作成した案に対して常勤職員で会議を行い、本計画を作成する流れになっています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			一部、日数の少ない非常勤職員には共有されていない場面もあるので、改善していきます。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		確認しています。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		されています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		定期的にプログラムの立案担当がローテーションされ、出てきた案に対して全員でミーティング及びロールプレイを行い活動プログラムを決定している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		2週間に一度は必ずプログラムが見直されています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		集団活動以外に、必要なこどもに個別での療育活動時間を別途設けています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		繋がっています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		最低でも6ヶ月の一度行われています。	

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者と補佐の担当者が参画し、朝礼等で他の職員に伝達しています。		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		地域の支援員さんを中心に連携に努めています。		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		市立の保育園で講演を行わせて頂いたり、利用児童の相互の様子を見学に行かせて頂いたりしています。		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		保護者や支援員さんを通じて伝達されている状況で直接的な情報共有の場面がない。	
	28	(28~30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○				

32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		ほとんど全ての子どもが保育園や幼稚園に通っているため、事業所として特別に機会を設けることはしていませんが、そうでない子どもが利用を始めた場合必要になってくると考えています。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時、連絡帳、LINE、アセスメントの場面でこどもの課題や悩みごとの共有が出来るように努めています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		・ペアレントトレーニングという形では行っていませんが、LINEなどをおしていつでもお気軽に相談して頂ける状況に努めていますが、そのような機会がある場合の情報提供が足りていない部分がある点の改善に努めます。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		行っています。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			アセスメントでは保護者との面談が主で、そういう意味ではこども自身の意向という物への確認は足りていない部分があるかも知れないと言う自覚を持つ必要があります。
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		得ています。	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		送迎時、連絡帳、LINE、アセスメントの場面でこどもの課題や悩みごとの共有が出来るように努めています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		・年に3～4回程度、保護者や兄弟、家族の方達と子どもと一緒に楽しめるイベントを行っていますが、保護者同士の交流という点ではまだ活動が足りていないかも知れません。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月のおたよりで日々の活動内容についてどんな目的でどんな効果が期待できるのかの説明や、イベント等の活動報告をしています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		子どもの様子を写真や動画で記録する際に、他の子どもが写らないように配慮しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		出来ていません。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		何度の始めに計画を作成したうえで毎月実施しています。	
46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		しています。		

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		事務所の目立つところに一覧でアレルギーのあるこどもが掲示されていると同時に、事業所から食品を提供する事がある場合は事前に保護者への確認をしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画の作成と研修を実施しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		日々の朝礼時に必ず前日のヒヤリハットの有無を職員間で確認し共有しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年間の研修計画の中に盛り込まれており定期的な研修が実施されています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		現在の所、支援計画に記載が必要な身体拘束の事例はありませんが、必要な手続きを理解しています。	